



“おても洗いました。さあ、おやつですよ。” “イタダキマス”とかわいい声がひびく。

—市立小ばと保育所にて—

最近、人づくりということがよく言われますが、とくに、二・三歳の子どもたちにとつては、その子たちを取り巻く環境こそ、一生のうちで最も大切なものです。

先日、乳児・保育所のひとつである市立小ばと保育所をたずねましたが、そこでは、若い保母さんたちの愛情と情熱にはぐくまれて、規律ある生活のなかにものびのびと育つ多くの乳幼児の姿がありました。

この清潔で明るい環境づくりの裏方さんともいえる保母さんたちは、きょうも、おしめの取り替えや便器の掃除などに、献身的に働いていることでしょう。



## 若い

## 保母さん

## 昭和44年度の鳥取市政

予算総額 52億6,134万7千円



いよいよ着手

鳥取駅の高架

駅前の都市改造

昭和四十四年度予算をはじめ、

各種の重要な事項を審議する鳥取市

議会三月定例市議会が三月十二日  
から四月九日まで開かれ、慎重に

審議して可決となり、新しい年度

の出発が始まりました。

なお高田市長は、ことしの市政

執行について、本年は市制八十年

年にあたる記念すべき輝かしい年

であります。この鳥取市は、先

輩市民各位が、過去幾多の艱難と

試練に堪えて築きあげられた遺産

であります。私はこの尊い遺産を

さらに発展充実するため、積極的

に諸施策を推進し、明るい街づくり

と住民福祉の向上に精魂をそそ

ぎたい、と所信の一端を述べました。

### — 鳥取市政三本の柱 —

谷間のない市政

健康都市の建設

近代的生産都市の実現

















